



2025-2026 年度 RI 会長メッセージ「よいことのために手を取りあおう」

GOVERNOR'S Monthly Letter



フランチェスコ・アレツォ RI 会長と。

国際ロータリー第 2510 地区 2025-2026 年度ガバナー 玉井 清治

〒060-0042 北海道札幌市中央区大通西 11 丁目 4 大通藤井ビル 7F

TEL (011) 207-2510 FAX (011) 207-2512 E-mail : rid2510@pxva.ne.jp <http://rid2510.org>

ガバナー月信 vol.3 目次

2026-27 年度 RI 会長選ばれる



2026-27 年度 RI 会長に
オンラインカ・ハキーム・ババロラ氏が
選ばれる

2p

ガバナー公式訪問報告

江別西 RC

7/15 (火)



札幌真駒内 RC

7/16 (水)



芦別 RC

7/17 (木)



岩見沢 RC

7/17 (木)



深川 RC

7/22 (火)



留萌 RC

7/23 (水)



白老 RC

7/29 (火)



苫小牧北 RC

7/29 (火)



苫小牧東 RC

7/31 (木)



地区の動き



2025-26 年度
第 4 回ガバナー補佐会議
クラブ活性化セミナー報告

4p



地区代表幹事
岩川 信子 (函館亀田 RC)



地区副代表幹事
吉川 達也 (函館東 RC)

OTHER CONTENTS

- ガバナーメッセージ 1p
- 2026-27 年度 RI 会長に
オンラインカ・ハキーム・ババロラ氏が選ばれる 2p
- 2027-28 年度 RI 会長に
ラリー A. ランスフォード氏が選ばれる 3p
- 第 4 回ガバナー補佐会議・クラブ活性化セミナー報告 4p
- ガバナー公式訪問例会報告 6p
- ガバナーノミニ候補者推薦のお願い 12p
- 新会員のご紹介
/ 7 月米山記念奨学会寄付・ロータリー財団 13p
- ハイライトよねやま 14p
- コーディネーター NEWS 16p
- 7 月会員数・例会数報告 19p
- 地区大会のお知らせ 20p
- 地区カレンダー 9 月・10 月 22p
- ガバナー公式訪問に関するお願い
・ ガバナー事務所からお願い 23p

今月の写真「芦別駅」



「星の降る里・芦別」を象徴する芦別駅は、レトロな趣と温もりを感じさせる木造駅舎です。
大きなガラス窓から柔らかな光が差し込み、待合室はどこか懐かしい雰囲気。かつて炭鉱で栄えた町の歴史と、自然豊かな観光都市としての現在が融合した、芦別らしさを感じられる駅舎です。

(撮影日) 平成 23 年 5 月 15 日：玉井ガバナー



耳を傾け、心で学ぶー公式訪問という贈り物ー

国際ロータリー第 2510 地区
2025-2026 年度 ガバナー

玉井 清治
(函館亀田 RC)

9 月は国際ロータリーが定める「基本的教育と識字率向上月間」です。そして日本独自の「ロータリーの友月間」です。教育を通じて人々に未来への道を開き、情報を通じて仲間との絆を深めるこの月について私は、改めて「学び」と「共有」の重要性を感じています。

7 月より、地区内ロータリークラブへのガバナー公式訪問が始まりました。毎週、各クラブの例会に出席し、会長・幹事、そして会員の皆さんと顔を合わせ、それぞれのクラブの歩みや取り組みについて直接お話を伺う日々が続いております。この公式訪問こそ、ガバナーとしての重要な務めのひとつです。しかし、それは単にスケジュールをこなすものではありません。公式訪問は、「学び」と「発見」の旅でもあると、私は実感しています。

各クラブには、それぞれに異なる歴史と文化があり、会員一人ひとりが、真摯に地域と向き合い、独自の工夫を凝らしながら奉仕を続けてきた軌跡があります。あるクラブは、若い世代の育成に力を注ぎ、あるクラブは、地道な地域密着型奉仕活動が続け、またあるクラブは、国際奉仕に情熱を注ぎ、世界と地域を結びつけています。「ロータリーとはこうあるべきだ」という一つの形はありません。むしろ、こうして各クラブが、それぞれのカラーを活かして活動していることこそが、ロータリーの豊かさであり、可能性であると強く感じました。

地区活動指針に掲げた「リバイバル原点回帰」、この想いは、各クラブの現場でさらに確信へと変わっています。原点に立ち返るとは、過去の模倣ではありません。ロータリーが生まれたときのように、「今、私たちは何をすべきか」を考え、「誰と手を取り合うべきか」を問い、「どのように未来に希望をつなぐか」を模索することなのです。

公式訪問を重ねるなかで、私はまた「ロータリーの友」の意義を改めて感じています。各地の仲間たちの想いや工夫

に触れるたび、ロータリーの絆の広さ、深さを実感します。「ロータリーの友」は、私たちを結び、互いに励まし合う架け橋です。月刊誌を通じて、他クラブの事例や理念に学び、新たな刺激を受けることも大切なロータリアンの務めだと改めて感じます。

今、私は心から思います。地区ガバナーとは、学ぶ者であるべきだ。クラブを訪問し、皆さまの声に耳を傾けることで、私は何度もロータリーの奥深さと、未来への可能性に触れることができています。

学び合い、響き合うロータリーの文化を、さらに大切にしていましょ。一人ひとりの想いが、ロータリーを未来へと導きます。共に歩み、共に学び、共に未来を拓きましょ！

■ 地区大会に向けて

10 月 11 日・12 日には、いよいよ年に一度の地区大会が開催されます。

地区大会は、ネットワークを広げ、ロータリーを学び、親睦を深める絶好の機会です。

本年の大会は、ロータリアンの皆さまが「絆を深める」よう、従来の枠にとらわれないプログラムを企画いたしました。

第一日目は、会長・幹事会、そして RI 会長代理ご夫妻歓迎晩餐会。

第二日目は、国際大会さながらの会場演出、北海道の魅力を満喫できる出店開設など、ロータリーの絆を実感できる一日となるよう準備を進めております。

皆さまのご参加を、心よりお待ち申し上げます。

オンラインカ・ハキーム・ババロラ氏が 2026-27 年度国際ロータリー会長として選ばれる

オンラインカ・ハキーム・ババロラ氏（ナイジェリア、トランス・アマディ・ロータリークラブ所属）が、理事会により 2026-27 年度国際ロータリー会長として選出されました。ババロラ氏は来年 7 月 1 日に会長に就任します。

理事会は、8 月 11 日のユン・サング RI 会長エレクトの予期せぬ辞任を受け、特別会合を開きました。RI 章典と方針に基づき、理事会は、2024 年 8 月に行われた国際ロータリー会長指名委員会によって審査された候補者の中から、新たな会長エレクトを選出しました。

弁護士であるババロラ氏は、1988 年に大学で工学の学位を取得。シェル PLC で要職を歴任するなど、石油・ガス業界で 25 年間勤務し、4 大陸でプロジェクトを実施。リビエラ・サービス社（石

油・ガスインフラ供給会社）とリード・アンド・チェンジ・コンサルティング社（管理職コーチングと組織業績アドバイザーグループ）の 2 社を設立。

ババロラ氏が所属する専門職団体には、ナイジェリア技術者協会、安全専門家協会、変革管理専門家協会などがあります。経済・社会政策について政府に意見を提供する地元組織、ジェリコ・ビジネス・クラブのメンバーとなっています。

1988 年から 1994 年までローターアクターとして活動したババロラ氏は、2018-20 年度に RI 理事を務めました。2019-20 年度には副会長を務めました。1994 年以来、トランス・アマディ・ロータリー・クラブの会員であり、2011-12 年度に地区ガバナー、2017-23 年度に End Polio Now：歴史をつくるカウントダウンキャンペーン委員会（2017-20 年度副委員長）、2013 年～現在はナイジェリア・ポリオプラス委員会（2016 年～現在アドバイザー）での役職を歴任しています。

既婚であり、二人のお子さんがいます。冠名基金とアーチ・クランフ・ソサエティを通じてロータリー財団を支援。シェルターボックス UK の評議員、セーフ・ブラッド・アフリカ・プロジェクトの理事としてボランティア活動も行っています。アフリカ 100 周年英雄賞、ポリオのない世界のための地域奉仕賞、超我的奉仕賞、ロータリー財団功労表彰状を受賞。



ラリー A. ランスフォード氏が 2027-28 年度国際ロータリー会長に選出される

ラリー A. ランスフォード氏（米国ミズーリ州、カンザスシティ・プラザ・ロータリークラブ所属）が、2027-28 年度の国際ロータリー会長として会長指名委員会により選出されました。

対抗候補者がいなければ、9 月 15 日に正式にランスフォード氏が会長ノミニーとして宣言されます。

ランスフォード氏は、ミズーリ州カークスビルにあるトルーマン州立大学で学業奨学金を受け、会計学の学士号と修士号を取得しました。ロータリーとの出会いは、ロータリー財団の国際親善奨学金を得て、1981-82 年度にオーストラリアのニューカッスル大学に留学したことでした。



公認会計士であるランスフォード氏は、アーンスト&ヤング社に 7 年間勤務した後、1990 年に家族経営のバーンスタイン・ライン・アドバタイジング社に入社しました。現在はバーンスタイン・グループの取締役副社長兼最高財務責任者を務めています。カンザス・シティ・スピリット・フェスティバルやバラエティ・クラブの理事を務めるほか、地元銀行の取締役や Epilepsy Foundation for the Heart of America の財務長も歴任しました。トルーマン州立大学の同窓会や財団の役員も務め、同大学の特別功労賞も受賞しています。

1991 年にカンザスシティ・プラザ・ロータリークラブに入会して以来、地区ガバナー（2001-02 年度）、RI 理事（2013-15 年度）、ロータリー財団管理委員（2021-25 年度、2024-25 年度副委員長）を歴任しました。また、執行委員会（2014-15 年度委員長）、会員増強委員会（2016-18 年度委員長）、RI 会長指名委員会（2023-24 年度委員長）など、RI 委員会の委員だけでなく、ロータリー財団執行委員会（2023-24 年度委員長）、財務委員会（2022-23 年度委員長および 2024-25 年度委員長）、参加者体験委員会（2023-24 年度委員長）の委員も務めてきました。

これまでに、ロータリー財団特別功労賞、ロータリー財団功労表彰状、RI 超私の奉仕賞を受賞しています。ジル・ランスフォード夫人との間に 2 人のお子さんと 1 人のお孫さんがいます。ご夫妻でメジャードナー、遺贈友の会会員、複数のポール・ハリス・フェロー、ロータリー財団のベネファクター、財団の友会員です。

2025-2026 年度

第 4 回ガバナー補佐会議・クラブ活性化セミナー報告

2025-2026 年度 第 4 回ガバナー補佐会議

日時：2025 年 7 月 27 日（日）

会場：札幌グランドホテル

地区代表幹事

岩川 信子（函館亀田 RC）



令和 7 年 7 月 27 日 札幌グランドホテルにて開催されました 2025-26 年度地区クラブ活性化ワークショップに先立ちまして第 4 回 ガバナー補佐会議が開かれました。

地区内 12 グループのうち 11 グループのガバナー補佐にご参加いただき、玉井清治ガバナーの挨拶ののち、嵯峨義輝 地区ラーニング委員会アドバイザー（PG）、福井敬悟 地区ラーニングファシリテーター（PG）にご挨拶を頂き会議がはじまりました。

2025 年規定審議会クラブと地区に関連する重要な変更を福井パストガバナーからご説明頂き、クラブ財務関連・地区関連とそれぞれ確認しました。続いて、玉井ガバナーから 地区職業奉仕委員会で現在取り組んでいる「地区内企業 店舗検索サイト」について、職業奉仕の理念に基づき、地区内のロータリアン同士の適正な取引が実現できる簡単検索サイトの作成進捗状況の説明がありました。その後、当地区の 地区大会、2026 年台北国際大会の PR と続きました。クラブサポートミーティングに関しましては、すでに年間スケジュールとして会議を企画しているグループもあり、クラブ会長・幹事の意見をガバナーが直接聞くという意義のある会議になるように、玉井ガバナーとガバナー補佐で ZOOM 会議の取り組み方、問題点や解決方法にいたるまで活発な意見交換がされました。最後に 玉井ガバナーから、今年度は会員増強を第一に進めていくという方針のもと、地区委員会また各クラブの活性化、決して会員増強委員長だけでなく会員一人ひとりの行動が増強の推進力になるというお話をされ、第 4 回ガバナー補佐会議は終了いたしました。



2025-2026 年度

第 4 回ガバナー補佐会議・クラブ活性化セミナー報告

2025-2026 年度 クラブ活性化ワークショップ

日時：2025 年 7 月 27 日（日）

会場：札幌グランドホテル

地区副代表幹事

吉川 達也（函館東 RC）



午前のガバナー補佐会議に引き続き、午後からは 2025-2026 年度 クラブ活性化ワークショップが開催されました。玉井清治 第 2510 地区ガバナーによる基調講演は【会員増強の重要性】について視覚に訴えるスライドも併用し、わかりやすくご説明いただきました。

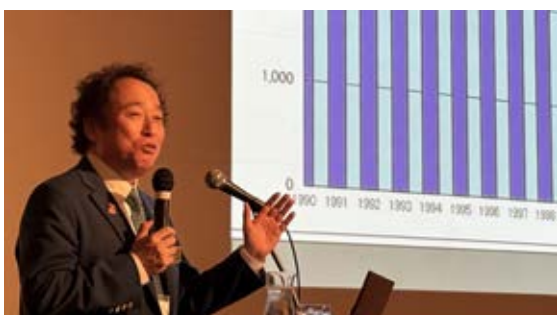
基調講演に続き会員増強とも密接に関係のある【公共イメージ向上について】小川有積 地区公共イメージ向上委員会 委員長よりたくさんのヒントをいただき、石丸修太郎 地区ロータリー財団委員会 委員長（PG）からは【ロータリー活動とロータリー財団】と題して、クラブが円滑に活動を継続していくために必要なロータリー財団についてのお話を頂戴しました。

後半はグループディスカッション【クラブ活性化の重要性について】を実施、テーブル毎に活発な意見交換が行われ、最後にディスカッション内容の報告がありました。

各クラブを取り巻く状況は様々で、問題解決のアイデアも多様。参加者からは「そんな考え方もあるのか!？」など、これからのクラブ運営へのヒントや刺激になったとの感想をいただきました。

グループディスカッションについては、ディスカッションを有用なものにするために重要なファシリテーターとしてガバナー補佐、地区ラーニング委員会、平川香織地区 RLI 委員会 委員長を筆頭に RLI 委員会の皆さまに多大なご協力をいただきました。

嵯峨義輝 地区会員増強委員会 委員長（PG）から総評とこれからのクラブ運営について激励の言葉をいただき、福井敬悟 地区ラーニングファシリテーター（PG）の閉会の言葉をもって、今年度のクラブ活性化ワークショップは終了いたしました。



ガバナー公式訪問例会報告

江別西ロータリークラブ

7/15(火)

2025年7月15日(火)はやし野幌にてガバナー公式訪問例会を行いました。

玉井ガバナーは予定時間よりも一足早く到着されて、用意をされ、第3グループ西方ガバナー補佐、徳重ガバナー補佐幹事が到着されて、会長・幹事懇談会を始めました。玉井ガバナーからはクラブの活動、運営の全般について色々ご指導をいただきましたが、特にクラブ運営の柔軟性と出席免除会員の設定や、名誉会員の扱いに付いて、ご指導をいただきました。

クラブ協議会では、各委員長が今年度の活動計画を発表

したのち、ガバナーから江別市子育てひろば「ぼこあぼこ」への資金支援をはじめ、あけぼの祭りや福祉施設のお祭りへの参加・募金活動など、地域に密着した奉仕活動を継続して行っていることにたいして、お褒めをいただきました。

例会では、RIからのメッセージ、玉井ガバナーの今年度の活動方針の説明をお聞きした後、当クラブ会員のたつての希望により、地区大会のプログラム、イベントについて説明をしていただきました。例年とかなり異なったプログラムですが、遠方から参加されるロータリアンの方々のスケジュールや会員の公平さ、インクルージョンを考えたプログラムに盛り上がりながら、記念写真を撮って、ガバナー公式訪問例会を終了しました。



札幌真駒内ロータリークラブ

7/16(水)

7月16日に本年度の玉井清治ガバナー、菅原ガバナー補佐をお迎えしました。10時30分からの予定を少し早めて会長・幹事会を開催しました。しかしそれでも時間が足りない位の活気あるお話ができ、特に地区大会のあり方についての質問には玉井ガバナーの考えをよく理解することができました。11時30分からのクラブ協議会では札幌真駒内RCの活動状況と今後の計画を報告致しました。当クラブの奉仕活動の柱のひとつである「犯罪被害者支援」については、全国ではひとつだけ大分のあるロータリークラブでも支援をしている話から、玉井ガバナーの親しいロータリアンのクラブであったことがわかり新たな縁を感じました。例会では卓話を頂き、会員増強は必須であるがそれ以前に活気のあるクラブ活動が必要であるとのお話に本来のあり方を感じました。今後の活動に活かせるように努めたいと思います。



ガバナー公式訪問例会報告

芦別ロータリークラブ

7/17(木)



芦別 RC の公式訪問は、年度がスタートしたばかりの7月が慣例となっていることから、早め早めの準備等を心がけたことが功を奏したのか、当日は大きな混乱や問題も生じず無事全てのプログラムを終了することができました。公式訪問前の事前調査では「貴クラブの特徴」という項目があり、57 年前に造成した「ロータリーの森」について紹介させていただいたところ、ガバナーから「是非、立ち寄りたい」との意向を受け、急遽向かうことになりました。6 月中旬に花壇整備を行ったにもかかわらず、なんと想像以上に草がぼうぼう生い茂っており、ロータリーマーク（直径 30m）を模った自慢の花壇は目も当てられない状態でした（あっちゃあ！）。事前の下見を怠ったことを反省し、後日整備された「ロータリーの森」の写真を送らせていただきました。

会長・幹事会はクラブに関する忌憚のない意見交換や疑問・現況等フリートーク形式で進められました。またクラブ協議会では各委員会より活動計画や諸先輩たちが築き上げた歴史と伝統を継承しながら様々な活動に取り組んでいる旨も説明させていただきました。例会も含め始終なごやかで楽しく有意義な時間となり、ずっしり重かった肩の荷が一瞬で軽くなったような気がしました。今回の訪問でガバナーが「全てにおいて理想のクラブであり、ロータリーが目指すべき方向性を持ち合わせた素晴らしいクラブ」と、この上ない光栄なお言葉頂戴し、今後の活動における大きな活力となりました。

ガバナーからいただいた貴重なご助言等を胸に受止め、芦別 RC の更なる発展へと繋げていければと思います。

ガバナー公式訪問例会報告

岩見沢ロータリークラブ

7/17(木)

去る7月17日(木)、市民会館・文化センター(まなみーる)にて、玉井清治ガバナーをお迎えして「ガバナー公式訪問夜間例会」を開催致しました。

公式訪問当日は、16時00分より、西方洋昭第3グループガバナー補佐、岩川信子地区代表幹事、吉川達也地区副代表幹事、番場優地区幹事、神田薫朋ガバナー補佐幹事、徳重寛道ガバナー補佐幹事の5名の方々が随行され、菅野聖人会長エレクト、金田貴彦副幹事同席のもと、「会長・幹事懇談会」を開催致しました。藤波幹事の進行により、内田会長より今年度岩見沢RC会長テーマ「オリジン」の説明と＜岩見沢RCの活動についての現況報告＞、そして＜クラブ3年計画の具体的目標について＞が報告され、それらの観点を端緒として様々な話題の情報意見交換が終始和やかな雰囲気で行われました。



16時30分からの「クラブアッセンブリー(協議会)」では、理事役員・各委員長・衛星クラブ議長、総勢24名全員が参加し、各委員会の年度活動計画を玉井ガバナーに提示し、ガバナーから講評を頂きました。また、オブザーバー参加の新会員からも感想をガバナーに聞いていただき、有意義なアドバイスと同時に、全体を通してのお褒めのお言葉も頂戴しました。

アッセンブリー終了後は市民会館・文化センター(まなみーる)のエントランスにて玉井ガバナーを囲んでの集合写真撮影を行い、18時00分「第3413回例会」の点鐘。

例会では、玉井ガバナーより講話をいただき、本年度のガバナー地区メッセージ「リバイバル」の趣旨をもとにお話を聞かせて頂きました。そして、地区大会についてもお話を頂き、玉井ガバナーと岩見沢RCは関わりの深い関係性でもあり、地区大会には一人でも多くの方々に、地区大会にご来場をして頂きたい思いを感じさせて頂きました。



ガバナー公式訪問例会報告

深川ロータリークラブ

7/22(火)

7月22日(火)、ガバナー公式訪問として、第2510地区 玉井清治 2025-2026 年度ガバナー、第1グループ 竹内秀樹ガバナー補佐(羽幌 RC) 及び武田弘樹ガバナー補佐室長(羽幌 RC) が、深川 RC にお越し下さいました。

市内ラ・カンパニョホテル深川にて、10:30 より会長・幹事会があり、その中では「任期1年では、何か事業を考えても、中々進まないのでは。」という質問に対しまして、ガバナーより会長・会長エレクト・会長ノミニーの三人が手を組んでやれば、3年のスパンで種々計画・実行できるのではとのアドバイスをいただきました。(「Unite for Good」)



その後、11:30 よりのクラブ協議会においては、各委員長より今年度の活動方針の説明を受けられ、深川 RC はそれなりにしっかりと運営されている事と、会員は年々、年を取っていくのだから若い人を入会させるようにとの助言をいただきました。

12:30 よりは例会となり、やはり会員増強は全会員が心して考えるべき事であると述べられました。次に10月の函館での地区大会について、例年とは少し趣向を変えたとのことで、是非たくさんの会員の参加をと呼びかけられました。

最後に、新会員2名の入会式をとり行い、ガバナーより新会員にバッジをつけていただき、例会終了となりました。ガバナーから種々の助言、参考意見をいただき、大変有意義な時間をすごさせていただきありがとうございました。この場をお借りしてお礼申し上げます。



ガバナー公式訪問例会報告

留萌ロータリークラブ

7/23(水)

本年度、第4回例会通算 3039 回【ガバナー公式訪問例会】を開催致しました。例会前段の会長・幹事会、クラブ協議会では、クラブの現状と将来を見据えてクラブ運営のあり方、会員増強についてのお話を頂戴しまして、玉井ガバナーのアイデアと実行力、そしてロータリーに対する愛情を強く感じる事ができた大変貴重な時間でありました。また、前日の【玉井ガバナーを囲む会】では、我が街誇る絶景の夕日とバーベキューを堪能していただき、留萌 RC のおもてなしを感じていただき感謝しております。さらに【武子の部屋】と題した余興アトラクションでは、徹子の部屋パロディー劇場にもお付き合いいただいて、クラブ会員とともに大いに親睦を図ることができ、玉井ガバナーのお人柄を知ることができました。今回の公式訪問にて玉井ガバナーから頂戴した印象的なお言葉として、【まずは自分たちが楽しむことを忘れない】この言葉をクラブ会員一同、今一度【リバイバル原点回帰】に立ち戻り、今年度のロータリー活動に活かしていければと思います。玉井ガバナー大変素敵な時間をありがとうございました！



ガバナー公式訪問例会報告

白老ロータリークラブ

7/29(火)

7月29日(火) 10:27 分着の北斗3号で白老駅に到着予定でしたが、鹿と列車が衝突して15分程遅れて白老駅に到着されました。駅にて、平田ガバナー補佐・鈴木浩之補佐幹事・田代会長・吉田幹事・田辺会員の5名でお迎えし、公式訪問の会場へと向かいました。11:00より、会長・幹事会を開催。おいしいお菓子をおともにお話しさせていただきました。玉井ガバナーより、ざっくばらんにお話をとお言葉をいただきましたので会長に就任してからの疑問点をぶつけさせていただきました。(内容はいろいろさしさわりがあるので秘密です。)玉井ガバナーも就任時に同じ疑問をもっていたらしく、熱く説明していただきました。11:30よりクラブ協議会を開催。と言ってもまだ1か月たっていない時期での訪問でしたので、今年の方針を各委員から発表する形になりました。講評にて玉井ガバナーの「リバイバル原点に立ち返り未来への反映へ」の活動方針の説明をうけ、また8月から女性の新規会員の入会が決まっていることや女性会員が活躍している当クラブの活動についてお褒めの言葉をいただきました。12:30より白老RCの今年度の方針でもある「楽しく・おいしい例会」を堪能していただきました。白老RCの会員でもある高木会員のお店にて、白老牛の焼き肉を食べながら楽しく例会に参加いただきました。当日は無事公式訪問を終えましたが、後から話を聞くと、翌日30日に津波騒動があった際に、JRで移動中に白老駅でおろされ、白老町の小学校に避難されたとか・・・公式訪問の移動中に避難なんて、いろいろな意味で忘れられない訪問になったのではないのでしょうか。



苫小牧北ロータリークラブ

7/29(火)

2025年7月29日(火)、苫小牧グランドホテルニュー王子にて、玉井清治ガバナー、平田幸彦第12グループガバナー補佐をお迎えし、ガバナー公式訪問が開催されました。

16時30分より会長・幹事懇談会、17時30分よりクラブ協議会、18時30分より公式訪問例会およびビールパーティーが行われました。

懇談会では、国際奉仕事業や会員増強について意見交換を行い、地区の方針や国際ロータリーの現状について、数値を交えた分かりやすいご説明を頂き、大変有意義な時間となりました。

続く卓話では、ハラスメント対策の重要性、会員増強に関する地区の現状と今後の方向性、公共イメージの大切さについてのお話を賜りました。

ご多忙の中、ビールパーティーにもご参加いただき、玉井ガバナーの笑顔と温かなお人柄に触れる楽しいひとときを過ごすことができました。

また、10月の地区大会についてのご案内もいただき、心のこもった大会運営への期待が高まりました。

玉井ガバナー、平田ガバナー補佐、このたびは当クラブにご訪問いただき、誠にありがとうございました。



ガバナー公式訪問例会報告

苫小牧東ロータリークラブ

7/31(木)

令和 7 年 7 月 31 日、当クラブに玉井清治ガバナーをお迎えし、公式訪問が行われました。例会冒頭では、ガバナーより本年度 RI 会長メッセージ「よいことのために手をとりあおう」、ならびに第 2510 地区方針「原点に立ち返り、未来への繁栄」についてご講話いただきました。会長・幹事懇談会では、当クラブの現況や活動計画、会員増強への取り組みなどを意見交換。南沢会長より今期の活動方針やクラブ紹介 DVD が披露され、特に「クリスマスドロップ作戦」の映像に深く感銘を受けられました。ガバナーからは、会員の多様性・平等性・参加意識の重要性、適正な会員数や女性会員への配慮、新会員への価値観伝達など、多岐にわたる視点で貴重な助言を賜りました。クラブ協議会では会員が活発に意見を交わし、クラブの活性化と奉仕の在り方を再確認する有意義な機会となりました。



2028-2029 年度 ガバナーノミニー候補者推薦のお願い

地区ガバナー 玉井 清治
地区ガバナー指名委員長 石丸 修太郎

2028-2029 年度地区ガバナーノミニー候補者として適格な会員が在籍しており、地区ガバナー指名委員会の審議を希望する地区内クラブは、12月1日必着にて、地区ガバナー指名委員長（地区ガバナー事務所気付）宛に、指定の書式にてご推薦ください。

（書式はガバナー事務所にお問い合わせください）

なお、地区ガバナーノミニー資格条件については、国際ロータリー細則第 16.010. 節～第 16.020. 節の資格条件に適していることを要します。

[参考] 国際ロータリー細則第 12 条（ガバナーの指名と選挙）

国際ロータリー第 2510 地区 地区ガバナー指名委員会規定

（1998-1999 年度地区年次大会決議第 8 号）

2022 年手続き要覧抜粋

新会員のご紹介

(敬称略)

白老 RC



川野 隼人

令和 7 年 7 月 1 日
教育・保育

岩見沢ネクストロータリー
防衛クラブ

小林 美香

令和 7 年 7 月 9 日
生命保険業

江別 RC



植村 あかね

令和 7 年 7 月 17 日
生命保険

江別 RC



佐藤 直洋

令和 7 年 7 月 17 日
電気事業

岩見沢 RC



中川 寿一

令和 7 年 7 月 31 日
信用金庫

※入会順

米山記念奨学会へのご協力に感謝申し上げます

米山功労者

砂川 RC	阿部 憲道	会員 (1 回)	7 月 25 日
苫小牧東 RC	青山 晴美	会員 (2 回)	7 月 24 日
苫小牧東 RC	奥野 義雄	会員 (2 回)	7 月 24 日
苫小牧北 RC	赤川 勉	会員 (1 回)	7 月 24 日

米山功労クラブ

苫小牧北 RC 21 回 7 月 24 日

ロータリー財団へのご協力に感謝申し上げます

メジャードナー

札幌東 RC 和田 一仁 会員 7 月 18 日

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

砂川 RC	千葉 清	会員 (3 回)	7 月 25 日
岩見沢 RC	高瀬 優	会員 (1 回)	7 月 25 日
札幌北 RC	阿部 弘	会員 (4 回)	7 月 31 日
札幌北 RC	姫野 芳安	会員 (5 回)	7 月 31 日
札幌北 RC	中村 越子	会員 (7 回)	7 月 31 日
札幌手稲 RC	山田 啓一	会員 (1 回)	7 月 31 日
札幌手稲 RC	池田 和陽	会員 (2 回)	7 月 31 日
札幌南 RC	佐藤 嘉一	会員 (4 回)	7 月 31 日
札幌南 RC	平 昌夫	会員 (7 回)	7 月 31 日
札幌南 RC	福山恵太郎	会員 (8 回)	7 月 31 日
函館東 RC	國谷 大輔	会員 (3 回)	7 月 30 日
函館東 RC	五十嵐 稔	会員 (3 回)	7 月 31 日

ポール・ハリス・フェロー

滝川 RC	猪巻 弘行	会員	7 月 28 日
小樽南 RC	桂 正俊	会員	7 月 2 日
苫小牧東 RC	南沢 雄二	会員	7 月 24 日
苫小牧東 RC	山田 亮太	会員	7 月 24 日



公益財団法人ロータリー米山記念奨学会マンスリーニュース

ハイライトよねやま

vol. 305

2025年8月13日
発行

1 米山学友設立の日本式教育学校を天皇陛下が訪問

7月10日、モンゴルを公式訪問中の天皇陛下が、同国国会議員を務める米山学友のジャンチブ・ガルバドラッハさん(1998-99/山形北RC)が日本式教育を導入して設立した「新モンゴル学園」を訪問されました。

当日、同学園の学生・教職員代表らが日本語での校歌合唱などで天皇陛下を歓迎しました。ジャンチブさんからは、同学園の沿革や日本との関係、学生の日本留学実績、帰国後の活躍などについてご説明をし、多くのロータリー会員や山形市の仲間による支援で設立に至った経緯や、優秀な留学生に奨学金を支給している奨学財団について触れながら、「国づくりは人づくり」の考えの下、質の高い教育を行うために日本の教育をモデルにしていることをお伝えしました。



生徒から歓迎の花束を受け取られた天皇陛下



学園内を案内するジャンチブさん(左)

天皇陛下は、日本の教育制度がモンゴルの役に立っていること、多くの卒業生が日本留学を終えて帰国し、母国の発展のために努力しているという話に対して、喜びの意を表されたそうです。

全体で40分の訪問スケジュールの中で、天皇陛下は高校生の日本語の授業をご覧になり、生徒らが発表した夢や目標に対して感想を述べられ、生徒たちにいくつか質問をされました。

天皇陛下はジャンチブさんに対し、「良いことをしていますね。国の基礎は教育です。これからも日本とモンゴルの若者たちの交流を進めてください」と述べられ、握手とともに「新モンゴル学園の更なる発展をお祈りします」と激励の言葉を伝えられ、訪問を終えられました。

(写真はジャンチブさん本人より提供)

2 2026 学年度奨学生の募集を開始

来年4月採用の新規奨学生募集が始まりました。各地区の米山記念奨学委員会が選定し、当財団選考・学務委員会と常務理事会の承認を経て決定した指定校は、全国で609キャンパス(前年度586キャンパス)となりました。指定校からの被推薦者数は2,025人(同1,909人)で、この中から新規奨学生約680人が選ばれます。

今回、9校(同15校)が初指定校となりました。また、5地区(同5地区)が例会に通える範囲の地区外の26校(同15校)の大学を指定しました。さらに、大学・大学院以外を対象と

する地区奨励奨学金は、15地区(同13地区)39校(同38校)となっています。当財団からは8月5日に、全指定校宛にメールで通知しました。

各地区米山奨学委員会では毎年、学校説明会や学校担当者との懇談を行うなど、事業の目的に適う多様な人材を採用しようと努力しています。指定校からの応募締切は例年通り、10月15日となります。

※指定校一覧、募集要項・申込書式は、当財団ホームページにて公開しています。

3 寄付金速報 —2025-26 年度の始まりは—

前年同期比

-4.5%

普 -3.0% 特 -8.0%

2025-26 年度の最初の月となる 7 月末までの寄付金は約 2 億 375 万円でした。前年同期と比べて約 4.5% 減(普通寄付金:3.0%

減、特別寄付金:8.0%減)、約 980 万円の減少となりました。

過去には 2 億円に満たなかった年度もあった中、ご寄付いただきました皆さまに厚く御礼申し上げます。今年度も引き続きご支援を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

4 多様性あふれる第 2580 地区米山学友会

7 月 5 日、第 2580 地区米山学友会定時総会・懇親会が東京都内で開催され、学友 26 人を含む計 69 人が参加しました。当日は、他地区からのロータ



リー会員や学友の姿が見られ、地区の枠を越えた交流の場となりました。

第一部の総会では、谷一文子ガバナーエレクトが来賓挨拶の中で、「当地区の学友会は、奨学期間を日本各地で過ごした学友が集まっており、まさに多様性を体現している」と述べ、学友のつながりの大切さを強調されました。また、当財団評議員である鈴木喬氏からも激励の言葉が送られました。続いて、活動報告、会計報告、

新役員選出が行われ、引き続き会長を務めることになった楊子明^{ヨウシメイ}会長(2002-03 / 東京新橋 RC)から、次年度の活動方針が発表されました。

第二部では、「ロータリアンのびっくりするところ」をテーマにテーブル討論が行われ、学友らが語る体験がロータリー会員の励みとなり、交流の意義を再認識する場となりました。

第三部の懇親会では、楽器演奏の披露や初参加会員の紹介、他地区学友会の発表などがあり、学友の所属地区や出身国は異なっても、「米山ファミリー」としての一体感が随所に感じられる総会となりました。

5 米山学友の活躍を紹介『米山学友の群像 vol.6』完成

当財団では、『米山学友の群像』と題し、巣立った米山奨学生たちが現在どのような活躍をしているのか、ロータリーでの体験が、その後の人生にどのような影響を与えたのか、奨学事業の成果を伝える広報資料として、2005 年から数年おきに発行しています。今回、その第 6 弾となる『米山学友の群像 vol.6』が完成しました。本冊子では、世界で活躍する学友や、学友会の活動などを紹介。米山月間資料として各クラブにお届けしますが、米山関連セミナー等での配布をご希望の方は、メール(hilighl@rotary-yoneyama.or.jp)でご連絡ください。



公益財団法人ロータリー米山記念奨学会

〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 3F

Tel : 03-3434-8681 Fax : 03-3578-8281

E-mail : hilighl@rotary-yoneyama.or.jp

URL : <https://www.rotary-yoneyama.or.jp/>

編集担当 : 長尾(ながお)



第1地域 恒久基金/大口寄付アドバイザー 森川 昭正（仙台宮城野 RC）

去る 2025 年 4 月 27 日～29 日の3日間、エバンストンにある国際ロータリー本部において、2025 年度グローバル・フィランソロピー・セミナー (GPS ;Global Philanthropy Seminar)が開催されました。この GPSは新しく就任する E/MGA (恒久基金/大口寄付アドバイザー)及び EPNC(ポリオ根絶コーディネーター)を対象としたセミナーで、今回は世界各地域の 2025-26 年度から就任する次期 E/MGA;20 名、次期 EPNC;16 名が参加しました。

E/MGA がロータリーの地域リーダーの一つの役目として初めて任命されたのは 2013 年です。その後、日本の 3 地域で基本的に 3 年おきに1名ずつが任命されてきました。第1地域では私が5代目の E/MGA となります。

今回のセミナーは、自身がガバナーエレクトとして参加した国際協議会以来のグローバルなセミナーで、かつ、世界のロータリーのトップリーダーの多くに出会い、交流するという大変貴重な経験でした。

ロータリー会員であれば多くが憧れるロータリー発祥の地シカゴ近郊にある”ロータリー国際本部”。

ポール・ハリスら4人が初めて会合を開いた部屋が再現された One Rotary Center の 1 階にある当時のポール・ハリスの事務所前には、ポール・ハリスの銅像が出迎えてくれている様に立っていました。

2 日半の GPS では、E/MGA として今後どのように活動していくのか、いかなければならないのかを学びましたが、大きく以下の3つのことを学びました。

その一つはチームワークの大切さです。恒久基金/大口寄付の寄付者に限らず、財団への寄付への理解、促進するためには担当する地域、地区の RMC、RRFC、EPNC、RPIC、地区ガバナー、地区財団委員長、恒久基金/大口寄付小委員会委員長などとの連携が必要であり、また、前任者や他地域の関係者との連携も大事であることを学びました。二つ目としてはエンドポリオ、恒久基金/大口寄付への理解促進のためにはストーリーが大切であるということです。自分の経験から自分の言葉で伝えることの大切さを学びました。そして3つ目はロータリーが提供しているツールを十分に利用することです。E/MGA として閲覧権限を与えられるデータについても関係者と情報を共有しつつ、寄付者へのアプローチに繋げられるように検討していきたいと考えています。

また、GPS 全体として感じたことは、主催している側も参加している側も、みんながフレンドリーで自由に発言でき、共感する雰囲気が出来上がっていたことです。そのお陰で、自分なりに各セッションの討議において積極的な発言ができたと思います。

このセミナーで学んだことを活かし、3 年間の責務を全うできるように務めたいと考えていますので、どうぞ皆様のご指導ご鞭撻、そして何よりも大口寄付へのご協力をお願いいたします。





私たちの生き方のエンブレム

第2地域 ロータリー公共イメージコーディネーター 神野 正博（七尾 RC）

去る7月13日(日)に、毎年恒例の3地域合同公共イメージ向上セミナーを実施し、100人以上の各地区のリーダーに参加いただきました。信頼の証としてのエンブレム、すべてのロータリー活動が公共イメージ向上につながることで、そして広報と公共イメージ向上の違いなどのお話と、公共イメージを向上する5つの事例の発表をいただきました。終了後のアンケートで、全体としては高評価であったものの、フリーコメントで、「地区の活動の参考になるように事例を多くしてほしい」旨の内容が多く、今後の参考にしていきたいと思います。

このセミナーを踏まえ、公共イメージ向上を一言で言えないか考えて見ました。ロータリー会員の皆様は、ロータリーにどんな人がいて、そして、成りたいロータリー会員像をイメージできるはずです。しかし、一般の人々はもちろん、これからロータリークラブに入会しようとする人々にそれが伝わっているのでしょうか。そして、ロータリーのエンブレムを見たときに人々は何をイメージできるのでしょうか。人々は、ロータリーを世界で、日本で、地域でよいことをしている組織と認識してくれているのでしょうか。ポリオ根絶を目指す、平和を構築する、DEIを大切にする、環境問題を考える、貧困問題を考える、青少年をエンカレッジしている、海外からの留学生を支援している、リーダーシップを涵養しているなど、、の組織と認識してくれているのでしょうか。ロータリーのエンブレムを見たときに、信用・信頼という言葉が出てくるのでしょうか。

もし、そうではないのならば、それを作り出すための奉仕と公共イメージ向上戦略が必要になるに違いありません。なぜならば、私たちはロータリー会員として、この組織に所属している意義と誇りを持ちたいからなのです。

そういった意味で、私たちが創り出さねばいけないのは、ロータリーのエンブレム＝信頼の証なのではないでしょうか。あのエンブレムのラベルボタン、旗を見たら「信頼に足りる人たちだ。」と認識されるために、私たちはイメージを向上させる取り組みを人に見せ、一人一人が仕事で、日常で、そして奉仕で実践すべきなのです。まさに私たちの生き方、そのものになるのかもしれませんが。





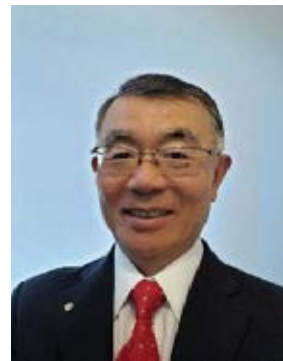
第3地域 ロータリー会員増強コーディネーター 中川 基成（あすか RC）

これをお読みのシニアロータリー会員の皆様が、あらためてロータリーのことをあまり知らない方々にロータリーへの入会を勧誘される場合どのような話をされるでしょうか？ また、入会したもののロータリーに馴染まず退会を検討される方々には、どのような話をされるでしょうか？ どちらも特別な個人事情もありますので、簡単な話ではないと思います。ましてや、ロータリーに対して誤解や思い込みなどがありますと、それを解いて正しく理解していただくのに苦労します。

その際に、最も大事にしたい基本的考え方は、つまるところ Enjoy Rotary ではないかと思っています。では、ロータリーを楽しむとは具体的にどういうことでしょうか？

私は、ロータリーを学び、行動し、発信することを下の循環図のようにロータリー活動の中にとどまらず、それぞれの職場や家庭や生活の中で回していくことであり、ロータリーを楽しみつつロータリーの中核的価値(Core Values)が増大していくことと考えます。(この Core Valuesこそ正しく理解する必要があるのですが、ここでは紙面の関係上、私の解釈は省きます。)

ロータリーを通じて人としての生き方を学び、様々な奉仕を通じて地域社会や世界の平和に貢献して、ロータリーの価値に共感する仲間を増やしてロータリーの奉仕の輪を広げていくことができればロータリー活動は何と楽しいことでしょうか。



もう一つ、ロータリーを語るうえで大事にしたいことは、ロータリーのビジョン声明をよく味わい、その重要性を理解することだと思います。

Vision Statement:

Together, we see a world where people unite and take action to create lasting change—across the globe, in our communities, and in ourselves.

「私たちは、世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能な良い変化を生むために、人びとが手を取り合って行動する世界を目指しています。」

今年の会長メッセージ “Unite for Good” はこのビジョンの核心を端的に言い表したものです。

自分自身や自分の所属するクラブや会社・組織の中で良い変化を生み出すことに取り組むことで、より魅力あるロータリーを体現できるならば、それに共感する人々に対して、ロータリークラブへの入会勧誘や退会防止にも説得力を持って効果が期待できるのではないのでしょうか。

いずれもロータリーを語るうえで、きわめてシンプルで基本的なことですが、改めてその重要性を再認識したいものです。

7月会員数・例会数報告

グループ	クラブ名	例会数	会 員 数			
			2025.7.1	2025.7.31	増減	内女性
1	深 川	4	28	30	2	2
	羽 幌	3	33	32	-1	2
	留 萌	5	22	22	0	4
	小 計		83	84	1	8
2	赤 平	3	20	20	0	3
	芦 別	4	27	27	0	1
	砂 川	4	41	41	0	2
	滝 川	4	82	82	0	7
	小 計		170	170	0	13
3	美 唄	4	21	21	0	2
	江 別	5	32	34	2	2
	江 別 西	3	31	34	3	3
	岩 見 沢	4	89	91	2	2
	岩 見 沢 東	3	9	9	0	0
	栗 沢	4	13	13	0	0
	栗 山	3	22	23	1	4
	当 別	4	27	27	0	3
	小 計		244	252	8	16
4	札 幌	4	105	118	13	4
	札幌はまなす	4	27	27	0	3
	札 幌 北	3	31	31	0	5
	札幌モーニング	4	34	34	0	0
	札 幌 西	4	44	45	1	8
	札 幌 西 北	4	28	28	0	4
	札 幌 手 稲	3	31	31	0	3
	小 計		300	314	14	27
5	札 幌 東	5	95	99	4	3
	札 幌 清 田	2	9	9	0	3
	札 幌 幌 南	4	59	60	1	5
	札幌真駒内	4	18	18	0	5
	札 幌 南	3	74	74	0	4
	札幌大通公園	2	13	13	0	3
	札幌ライラック	2	11	11	0	1
	新 札 幌	3	19	19	0	4
	小 計		298	303	5	28
6	岩 内	3	30	30	0	1
	倶 知 安	2	34	34	0	4
	小 樽	4	73	73	0	5
	小 樽 南	3	49	51	2	5
	小 樽 銭 函	3	10	10	0	1
	蘭 越	2	7	7	0	0
	余 市	3	38	38	0	4
	小 計		241	243	2	20

※岩見沢RCには岩見沢ネクストロータリー衛星クラブの会員数17名（内女性会員2名）を含む

※札幌西北RCには札幌西北ひまわりロータリー衛星クラブの会員数3名（内女性会員1名）を含む

※函館五稜郭RCには五稜郭すずらんロータリー衛星クラブの会員数7名（内女性会員0名）を含む

7月会員増減数

クラブ数	67
期首会員数	2,249人
当月末会員数(女性)	2,298人(198人)
増加会員数	49人

グループ	クラブ名	例会数	会 員 数			
			2025.7.1	2025.7.31	増減	内女性
7	千 歳	3	78	78	0	11
	千歳セントラル	3	41	41	0	10
	恵 庭	4	41	44	3	4
	北 広 島	4	18	18	0	2
	長 沼	3	16	16	0	3
	小 計		194	197	3	30
8	え り も	2	16	17	1	1
	三 石	3	10	10	0	0
	様 似	2	5	5	0	1
	静 内	3	55	55	0	5
	浦 河	4	21	21	0	3
	小 計		107	108	1	10
9	伊 達	2	53	53	0	2
	室 蘭	4	26	27	1	4
	室 蘭 東	3	29	29	0	2
	室 蘭 北	4	45	46	1	1
	登 別	5	31	30	-1	2
	洞 爺 湖	2	11	11	0	1
	小 計		195	196	1	12
10	函 館	4	66	68	2	5
	函 館 亀 田	3	29	30	1	2
	森	2	30	32	2	2
	七 飯	3	14	14	0	0
	長 万 部	3	9	8	-1	0
	函館セントラル	5	26	26	0	2
	小 計		174	178	4	11
11	江 差	2	10	10	0	0
	函 館 五 稜 郭	3	46	54	8	2
	函 館 東	4	32	34	2	5
	北 斗	5	12	12	0	0
	小 計		100	110	10	7
12	白 老	4	28	28	0	3
	苫 小 牧	4	57	58	1	4
	苫 小 牧 東	4	30	29	-1	7
	苫 小 牧 北	3	28	28	0	2
	小 計		143	143	0	16
合 計			2,249	2,298	49	198

Rotary
District 2510



UNITE FOR GOOD

**2025－2026年度
国際ロータリー第2510地区**

地区大会

ホストクラブ

函館亀田ロータリークラブ

1日目 2025.10/11 (土)
会場 函館国際ホテル

- 14:00／登録開始
- 15:00／会長・幹事会
- 18:30／RI会長代理ご夫妻歓迎晩餐会及び大懇親会

2日目 2025.10/12 (日)
会場 函館国際ホテル

- 8:30／オープニング
- 8:40／本会議
- 12:40／閉会

上記プログラム及び時間に変更される場合がございます。

ご挨拶



国際ロータリー会長
フランчесコ・
アレツツォ



ガバナー
玉井 清治



地区大会
実行委員長
秋田 正悦

歴史と観光のノスタルジックな街、函館より、心より皆様を歓迎申し上げます。

2025年10月11日(土)・12日(日)の2日間、国際ロータリー第2510地区の地区大会をここ函館にて開催いたします。

今回の地区大会は、「UNITE FOR GOOD(よいことのために手をとりあおう)」のメッセージのもと、地区内全てのクラブが一堂に会し、つながりと親睦を深めるかけがえのない機会として開催されます。

特筆すべきは、今回の大会が従来の形式にとらわれず、全ての参加者にとってより快適で、楽しく、そして思い出深い大会となるよう様々な工夫を凝らしている点です。

特に三つの大きな特徴を掲げております。

- ・第一に、遠方からご参加の皆様にも配慮した、ゆとりある

時間構成。

- ・第二に、全員が主役となる「RI会長代理ご夫妻歓迎晩餐会」ならびに大懇親会の開催。
- ・第三に、型にはまらない自由で開かれた本会議運営を目指し、心から楽しんでいただける地区大会といたします。

会場は、港町函館の中心に位置する函館国際ホテル。歴史的建造物や美しい坂道、活気ある朝市など、異国情緒と温かなおもてなしが皆様をお迎えいたします。

本大会では懇親ゴルフ大会は実施いたしません、その分、クラブの垣根を越えた語らいと、新たな友誼を育むひとときを大切にしたいと考えております。

どうぞ、クラブの皆様とともに心をひとつにし、この函館の地でロータリーの原点と未来を感じる2日間をお過ごしください。

1日目
10/11(土)

地区内
全会員の
参加を
お待ちしております



★基調講演

須田慎一郎氏
「日本経済の表と裏」

須田 慎一郎 (すだ・しんいちろう)

経済ジャーナリスト。1961年、東京生まれ。日本大学経済学部卒。経済紙の記者を経て、フリー・ジャーナリストに。テレビ朝日「ビートたけしのTVタックル」、読売テレビ「そこまで言って委員会NP」、ニッポン放送「飯田浩司のOK! Cozy up!」、YouTubeチャンネル「別冊!ニューソク通信社」「真相深入り!虎ノ門ニュース」他、多方面で活躍中。

また、平成19年から24年まで、内閣府、多重債務者対策本部有識者会議委員を務める。政界、官界、財界での豊富な人脈を基に、数々のスクープを連発している。

星空の大晚餐会

RI会長代理ご夫妻歓迎晚餐会

★オープニング

①江差追分

②津軽三味線
大演奏



★石野真子スペシャルライブ



いしの まこ
石野真子

- 生年月日／1961 年1月31日
- 出身地／兵庫県
- 血液型／A型
- 趣味／絵画・ビーズ刺繍・ガーデニング

50組限定
特別撮影会実施

- 代表曲
- ★狼なんか怖くない
 - ★ジュリーがライブ
 - ★春 ラ!ラ!ラ!
 - ★私の首領 他

2日目
10/12(日)

★スパウス スイーツ&ショータイム

出演者

亀ひろし、麗美

場所

旧北海道庁
函館支庁庁舎
(Jolly Jellyfish元町公園店)

亀 ひろし
(君小路あやまる)



ニューハーフ
麗 美

ドレスアップ記念撮影会

●場所／旧函館区公会堂

希望者のみ



会場
ご案内

函館国際ホテル



〒040-0064 北海道函館市大手町5-10
TEL:0138-23-5151(代) FAX:0138-23-0239

登 録 料

会 員	18,000円
ご家族	10,000円
新世代	7,000円
インナーホイール	12,000円
RI会長代理ご夫妻歓迎 晚餐会&大懇親会	12,000円

地区カレンダー 9月・10月

9月 基本的教育と識字率向上月間/ロータリーの友月間	
1 (月)	公式訪問(札幌北RC、長沼RC)
2 (火)	公式訪問(札幌清田RC、北広島RC)
3 (水)	公式訪問(札幌RC、新札幌RC)
4 (木)	公式訪問(札幌東RC、美唄RC)
5 (金)	
6 (土)	
7 (日)	
8 (月)	第1回ガバナーエレクト・ラーニングセミナー(～9日)
9 (火)	公式訪問(小樽RC、千歳セントラルRC)
10 (水)	公式訪問(倶知安RC) 地区ラーニングファシリテーターセミナー
11 (木)	公式訪問(岩内RC)
12 (金)	
13 (土)	
14 (日)	
15 (月)	敬老の日
16 (火)	公式訪問(赤平RC、栗山RC)
17 (水)	
18 (木)	公式訪問(千歳RC)
19 (金)	
20 (土)	札幌西RC創立65周年記念式典
21 (日)	
22 (月)	
23 (火)	秋分の日
24 (水)	
25 (木)	公式訪問(室蘭RC)
26 (金)	
27 (土)	公式訪問(長万部RC)
28 (日)	
29 (月)	公式訪問(三石RC)
30 (火)	

10月 地域社会の経済発展月間/米山月間	
1 (水)	
2 (木)	
3 (金)	
4 (土)	
5 (日)	
6 (月)	
7 (火)	
8 (水)	
9 (木)	
10 (金)	
11 (土)	地区大会(函館)
12 (日)	地区大会(函館)
13 (月)	スポーツの日
14 (火)	公式訪問(函館東RC、七飯RC)
15 (水)	公式訪問(森RC)
16 (木)	公式訪問(函館RC、北斗RC)
17 (金)	
18 (土)	ローターアクト協議会 小樽銭函RC創立50周年記念式典
19 (日)	RLIセミナーパート I
20 (月)	公式訪問(洞爺湖RC)
21 (火)	公式訪問(函館セントラルRC、江差RC)
22 (水)	
23 (木)	
24 (金)	
25 (土)	
26 (日)	
27 (月)	
28 (火)	公式訪問(伊達RC、室蘭北RC)
29 (水)	公式訪問(室蘭東RC)
30 (木)	公式訪問(登別RC)
31 (金)	公式訪問(函館五稜郭RC)

2025-2026 年度 ガバナー公式訪問に関するお願い

2025-26 年度の公式訪問は「公式訪問日程」の通り 7 月 8 日、札幌西ロータリークラブから始まります。貴クラブへの訪問を有意義なものとするためにも、下記の事項についてお手配とご協力を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

1. 公式訪問に必要な書類

下記の書類は貴クラブ訪問日の 2 週間前までにガバナー事務所へお送り下さい。

- ①今年度（2025-2026）クラブ活動計画書と前年度（2024-2025）活動報告書
※公式訪問が 7・8 月のクラブの場合は、活動報告書は前年度分で代用可能です。
- ②クラブ細則
- ③会員名簿
- ④クラブ会報（最近の 4～5 回分）
- ⑤過去 5 年間の年度別会員入退会数および退会者のクラブ在籍年数
- ⑥貴クラブの特徴（クラブの自慢、良い事業等）をご紹介下さい。

2. 会長・幹事懇談会

- ①会長・幹事の他に会長エレクトも必ずご出席下さい。

3. クラブ例会

- ①和やかで楽しく例会を行うためにも、より多くの会員に出席を奨励して下さい。
- ②ご連絡戴いた地元公共機関へのご挨拶は喜んで訪問させて戴きます。
- ③訪問時のお心遣いは、お気持ちだけ頂き固くご辞退致します。

ガバナー事務所からお願い

1. クラブの例会数・会員数報告について

毎月の最終例会から 15 日以内にガバナー事務所へ FAX かメールにて提出するようお願い致します。

2. 変更等のご報告について

新会員、退会者、会員資格変更、クラブ事務所、例会場、例会日、時間の変更、会長、幹事等の移動の場合、所定の手続きによりご報告下さい。

新しく会員が入会された時は写真を添付の上、氏名、入会日、職業分類をお知らせ下さい。

また、会員にご不幸があった場合には、氏名、年齢、ロータリー歴、お写真を至急ご報告くださいますようお願い致します。

3. クラブの移動例会等について

地区ホームページにフォームがありますので、アクセスしてご連絡下さい。

地区ホームページ⇒ 例会変更フォーム の順でアクセスできます。

（ホームページにアクセスが難しい場合は FAX、メールでお送り下さい）

4. ガバナー月信への原稿寄稿について

特にクラブの活動、トピックス、地域内の話題等、400 字前後に写真 1～2 枚をご同封願えればと考えています。原稿締切り日は毎月 5 日です。（メールでのご連絡にご協力ください）